

令和5年(2023年)12月19日

札幌市市民文化局
市民生活部消費生活課
TEL : 011-728-2111

令和5年度 年末年始における生活関連商品の需給動向・価格見通しについて

札幌市では、生活に密着した食品や石油製品等の生活関連商品の価格の動向を的確に把握し、市民に情報提供するため、業界団体や事業者の協力を得て、年末年始における各商品の需給動向及び価格見通しに関する調査を行っております。

この度、本年の調査結果について、下記のとおり取りまとめましたので、お知らせします。

記

1 御協力いただいた業界団体及び事業者

- ・ 札幌みらい中央青果株式会社
- ・ カネシメ高橋水産株式会社
- ・ 札幌食肉卸業協会
- ・ ホクレン農業協同組合連合会
- ・ 北海道製麺協同組合
- ・ 日糧製パン株式会社
- ・ 札幌地方石油業協同組合
- ・ (一社)北海道LPガス協会石狩支部

2 調査時期

令和5年11月下旬

3 概要

(1) 青果物

前年と比べ、17品目中、安値1品目、やや安値3品目、前年並み3品目、やや高値5品目、高値5品目となった。出荷量の減少によりやや高値～高値の品目が多い傾向にある。

(2) 水産物

前年と比べ、14品目中、安値2品目、やや安値1品目、前年並み6品目、やや高値4品目、高値1品目となった。原料費が下落しても経費の増加により前年並みの傾向がある。

(3) 畜産物

国産牛肉、国産鶏肉、羊肉は前年と比べ、やや安値の見込みであるが、輸入牛肉、豚肉、輸入鶏肉、ロースハムはやや高値と見込む。輸入品は国内在庫の減少からやや高値傾向が見られる。

(4) その他食料品

鶏卵は前年並みの見込み。もち米、生そば、ラーメン、小麦粉、パンはやや高値、黒豆は高値の見込み。生そば、ラーメン、パンは原材料価格やその他経費の高騰から、やや高値傾向にある。

(5) 石油製品

灯油、プロパンガスは前年並みの見込み、レギュラーガソリン、軽油はやや高値の見込み。

令和5年度 年末年始における生活関連商品の価格見通し 一覧表

	安値	やや安値	前年並み	やや高値	高値
青果物	ばれいしょ	ごぼう はくさい さつまいも	にんじん きゃべつ きゅうり	みかん 里いも みつば ほうれん草 レタス	生しいたけ れんこん だいこん たまねぎ 長ねぎ
水産物	いくら ほたて	まぐろ	新巻さけ 味付け数の子 赤えび たこ 板かまぼこ はまち	飯寿司 たらばがに こんぶ スモークサーモン	いか
畜産物		国産牛肉 国産鶏肉 羊肉		輸入牛肉 国産豚肉 輸入豚肉 輸入鶏肉 ロースハム	
その他 食料品			鶏卵	もち米 生そば ラーメン 小麦粉 パン	黒豆
石 油 製 品			灯油 プロパンガス	レギュラーガソリン 軽油	

※ 価格見通しの用語基準

前年並み = 前年同期比±5%未満

やや安値・やや高値 = 前年同期比±5～15%未満

安値・高値 = 前年同期比±15%以上

令和5年度 生活関連商品価格動向懇談会調査票

品目		価格見通し	需給動向
青	ばれいしょ	安値	出荷数量は少ないものの荷動きが悪く単価安での推移が見込まれる。
	ごぼう	やや安値	生育期間中、天候が良好だったことから入荷潤沢なこともあり安値傾向。
	はくさい		順調な入荷の見込み。 北海道については鍋需要で消費は多いものの供給量についてはそれ以上に順調な見通し。
	さつまいも		北海道、茨城の潤沢な入荷が見込まれ安値安定だが、1月からは平年並みの単価を見込む。
果	にんじん	前年並み	千葉・熊本中心の入荷。各産地天候による大きな被害もなく、概ね順調な生育で安定した入荷が見込まれる。
	きゃべつ		産地は生育順調で年末にかけて引き合いが強まっている状況。
	きゅうり		年末にかけて寒さの影響があれば、高騰の可能性もある。
	物		みかん
里いも		やや高値	千葉は作付が激減しており、埼玉は例年並み。作況は干ばつの影響もあり小玉傾向で出荷量は減少を見込む。
みつば			数量が全体的に減少傾向で、作付農家も1軒となっており、今後高値で推移していくと思われる。

令和5年度 生活関連商品価格動向懇談会調査票

品目		価格見通し	需給動向
青 果 物	ほうれん草	やや高値	作付減少模様のため、本年度は高値で推移すると予想。
	レタス		関東が前進出荷傾向だが、全国的には数量が減少気味のため、やや高値と予測。
	生しいたけ	高値	道内最大手の生産者が昨年12月末で栽培を辞めたため数量が激減。コストアップしたため単価高で推移している。
	れんこん		数量は昨年の2割減、単価は2割高になると予想。
	だいこん		各産地前進出荷傾向。供給量は概ね順調と思われるが、需要も高く高値と予測。
	たまねぎ		生育期における猛暑の影響のため傷みが多数散見され、数量減少傾向。
	長ねぎ		関東産の生育遅れのため。また高温の影響により細身傾向のため、高値と予想。

令和5年度 生活関連商品価格動向懇談会調査票

品目		価格見通し	需給動向
水	いくら	安値	昨年は高値推移から製品消費が落ち込み在庫が滞留、輸出減少も要因となり国内需要が中心となり価格の見直しが見られる。
	ほたて		中国の禁輸措置により、相場が下落している。
水	まぐろ	やや安値	冷凍鮪が安値で取引される予測であり、それに伴って養殖鮪もやや安値になると予測。
産	新巻さけ	前年並み	人手不足で生産量減少のため、前年に引き続き高値で推移。 量販店販売よりもギフト加工向けが中心のため、前年並みの見込み。
	味付数の子		原料価格は下落傾向だが、各種経費の高騰で製品価格は横ばい。
	赤えび		産地(アルゼンチン)価格は安いものの、円安で相殺され、国内販売価格は昨年並み。
	はまち		フィレは安定的に有り、ラウンドは前年並み。
	たこ		昨年に引き続き道内水揚げの不漁が響き、高値のまま推移と予測。
物	板かまぼこ	やや高値	原料のすり身価格は下落傾向にあるが、製品価格は横ばい。
	飯寿司		原料価格、人件費等の各種経費高騰により、卸価格も高値で推移。

令和5年度 生活関連商品価格動向懇談会調査票

品目		価格見通し	需給動向
水 産 物	たらばがに	やや高値	海外需要も強く、為替の影響もあり、相場は上昇傾向。
	こんぶ		利尻産等の水揚げが少なく、各産地が高値傾向。
	スモークサーモン		各種経費の増大に加え、原料価格も高値で推移しており、製品価格はやや高値。
	いか	高値	世界的な水揚げ不足。資源保護が必要で、どのように取り組むか考察するべきである。

令和5年度 生活関連商品価格動向懇談会調査票

品目		価格見通し	需給動向
畜	国産牛肉	やや安値	観光や外食は需要回復の傾向も見えるが、円安による家庭負担の増加から、内食で国産牛肉に手が伸びる機会が少なくなっている。枝肉相場は昨年よりやや安値だが小売価格は前年並みとなっている。
	国産鶏肉		現時点で昨年度の食鳥相場より安値で推移しているため、年末の最需要期に関しても昨年程上昇しない予想。ただし、鳥インフルエンザの発生状況によって状況は変わる可能性がある。
	羊肉		チルドラムが大きく値下げしたことにより、焼材のメインの一つとして量販店で特売ができるようになり、需要が回復した。工場原料は安くなったとはいえ、ここ数年の高値の経緯から製品転嫁までは時間がかかると見られる。
産物	輸入牛肉	やや高値	主要原産国のアメリカ産は全体的に昨年比120%以上の高値となっている。来年以降も高値堅調の予測。物量に対しての需給バランスがとれているため、為替以外での値下げトピックスには期待できず。
	国産豚肉		年末に向けた製造工場の動きが活発になっているが、量販店の売価が昨年より高いことで全体的な動きは鈍い状況。出荷頭数は10月以降、潤沢に出ており、相場については、昨年よりやや高値で推移していく予想。
	輸入豚肉		世界的に豚肉の精肉業者は採算が合わず減産、閉鎖など環境が悪化している。オファー価格は高く、日本は買い負けしており結果国内在庫もやや少なく、高値で動く商品も発生している。
	輸入鶏肉		今期8月以降のブラジルからの船積み量の減少等による国内在庫不足の懸念が予想されており、ブラジル現地のオファー価格も引き上げが予想されている。
	ロースハム		原料の「MMロイン」が製造人件コストの影響による減産に伴い、オファー価格が急上昇している。国内在庫も少なく2024年でのロースハムの値上げは避けられない状況。2024年4月1日より4メーカー同時に価格改定する旨、12/1プレスリリースがあった。

令和5年度 生活関連商品価格動向懇談会調査票

品目		価格見通し	需給動向
その他食品料品	鶏卵	前年並み	今後の鳥インフルエンザの発生状況にもよるが、全国的に生産羽数は以前の水準まで戻っていないものの、現時点では需要の落ち込みの方が大きい。年末及び年始にかけては高値水準だった前年並みの見通し。
	もち米	やや高値	全国的な原料需給は緩和から均衡に向かっている。包装餅メーカーにおいては人件費や電力、資材、原料代の高騰を受け、末端価格も上昇している。
	生そば		原材料に加えて、副材料(添加物、塩、砂糖、油など)の値上げにより、秋の輸入小麦粉による原材料価格の下落はあるものの値上げ要因が強く、昨年と比べ6%~15%の値上げの見込み。
	ラーメン		原材料に加えて、副材料(添加物、塩、砂糖、油など)の値上げにより、昨年と比べ6%~15%の値上げの見込み。
	小麦粉		輸入小麦の政府売渡価格が今年4月に対前期比5.8%引き上げられ、これに伴い小麦粉価格は7月から値上がりし、やや高値となっている。1月からは前年並みの見込み。
	パン		小麦、液卵、食用油、加工油脂類、砂糖などの原料コストの上昇、さらに物流コスト、エネルギーコストや人件費なども上昇しているため、製品価格は前年に比べやや高値となっている。
	黒豆		高値

令和5年度 生活関連商品価格動向懇談会調査票

品目		価格見通し	需給動向
石 油	灯油	前年並み	供給面では、石油業界として製造、販売に万全を期することにより問題はない。
	プロパンガス		輸入価格は中東産が値上がりしているが、北米産は値下がりしている。供給量は確保されており、供給不足になることはない。
製 品	レギュラー ガソリン	やや高値	供給面では、石油業界として製造、販売に万全を期することにより問題はない。
	軽油		供給面では、石油業界として製造、販売に万全を期することにより問題はない。